

総務教育常任委員会資料

(平成22年4月21日)

【 件 名 】

- | | | |
|---|---|----|
| 1 | 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（教育環境課） | 1 |
| 2 | 県立高等特別支援学校設置案についての説明会の概要について
（特別支援教育課） | 3 |
| 3 | 教材開発事業に係る第1期ドリルの完成について（教育センター） | 4 |
| 3 | 平成22年度の県立高等学校専攻科の志願状況について（高等学校課） | 8 |
| 4 | 山陰海岸学習館のリニューアルオープンについて（博物館） | 9 |
| 5 | 「県民の運動・スポーツに関する意識・実態調査」の調査結果について
（スポーツ健康教育課） | 10 |

教 育 委 員 会

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】		教育環境課				
工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
県立鳥取湖陵高等学校教室棟・特別教室棟耐震改修工事（建築）	鳥取市湖山町北三丁目	やまこう建設株式会社	132,615,000円 (予定価格) 156,609,600円	平成22年3月25日～ 平成22年11月30日	平成22年3月25日	
県立倉吉農業高等学校教室棟耐震改修工事	倉吉市大谷	馬野建設株式会社	99,225,000円 (予定価格) 108,738,000円	平成22年3月29日～ 平成22年11月15日	平成22年3月29日	
県立倉吉農業高等学校校舎棟耐震改修工事（建築・電気設備）	倉吉市大谷	有限会社向井組	151,410,000円 (予定価格) 178,007,550円	平成22年3月16日～ 平成22年11月30日	平成22年3月16日	
県立倉吉農業高等学校第二体育館耐震改修工事（建築・電気設備）	倉吉市大谷	有限会社酒井建設	105,000,000円 (予定価格) 116,769,450円	平成22年3月25日～ 平成22年11月15日	平成22年3月25日	
県立倉吉総合産業高等学校柔剣道場耐震改修工事（建築）	倉吉市小田	有限会社石賀工務店	108,360,000円 (予定価格) 125,398,350円	平成22年3月19日～ 平成22年10月29日	平成22年3月19日	
県立米子高等学校体育館・記念館耐震改修工事（建築）	米子市橋本	株式会社岩崎組	116,235,000円 (予定価格) 134,964,900円	平成22年3月24日～ 平成22年11月30日	平成22年3月24日	
県立日野高等学校体育館・柔剣道場耐震改修他工事（建築）	日野郡日野町根雨	日南振興株式会社	115,500,000円 (予定価格) 136,044,300円	平成22年3月29日～ 平成22年12月20日	平成22年3月29日	

【変更分】		教育環境課				
工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
県立八頭高等学校南体育館耐震改修工事（建築・機械設備）	八頭郡八頭町久能寺	こおげ建設株式会社	契約金額 174,720,000円を 196,505,400円 (21,785,400円増額)に改める。	平成21年9月8日～ 平成22年6月15日 (変更前：平成22年3月15日まで)	平成22年3月12日	(変更理由) 劣化が著しい既存座の撤去・新設の追加等を行ったため。

教育環境課

【変更分】

工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
県立米子工業高等学校校改築工事 (電気設備)	米子市博労町 四丁目	県立米子工業高等学校校改築工事 (電気設備) 中電工・ホクシン 特定建設工事共同企業体 株式会社中電工鳥取統括支社 株式会社ホクシン	414,750,000円 (変更なし)	平成21年3月4日～ 平成23年1月31日 (変更なし)	平成22年3月25日	(変更理由) 建築A・C工区の工期延長 に伴い指定部分の完成が 困難なため。 (変更前) 指定部分工期 平成22年10月31日まで (変更後) 指定部分解除
県立米子工業高等学校校改築工事 (空調設備)	米子市博労町 四丁目	県立米子工業高等学校校改築工事 (空調設備) 米子ガス産業・錦 海設備特定建設工事共同企業体 米子ガス産業株式会社 錦海設備株式会社	254,100,000円 (変更なし)	平成21年3月4日～ 平成23年1月31日 (変更前：平成22年 10月31日まで)	平成22年3月25日	(変更理由) 建築A・C工区の工期延長 に伴い完成が困難なため。
県立米子工業高等学校校改築工事 (衛生設備)	米子市博労町 四丁目	県立米子工業高等学校校改築工事 (衛生設備) シンセイ・サーン ガス山陰特定建設工事共同企業 体 株式会社シンセイ サーンガス山陰株式会社	181,650,000円 (変更なし)	平成21年3月5日～ 平成23年1月31日 (変更なし)	平成22年3月25日	(変更理由) 建築A・C工区の工期延長 に伴い指定部分の完成が 困難なため。 (変更前) 指定部分工期 平成22年10月31日まで (変更後) 指定部分解除

県立高等特別支援学校設置案についての説明会の概要について

平成22年4月21日
特別支援教育課

1 日程、参加者について

日程	3月11日(木)	3月12日(金)	3月13日(土)	
場所	西部総合事務所	県教育センター	倉吉体育文化会館	計
保護者	26	9	15	50
学校関係者	31	32	43	106
市町村教委	4	4	3	11
関係機関等	1	4	3	8
合計	62	49	64	175

2 説明会での主な質問・意見

- <質問>・高等特別支援学校設置を決めた理由は何か。
・入試の時期、内容、受検資格はどうなるか。
・就職後のフォローアップ体制はどうなるか。
- <意見>・設置規模を大きくして欲しい。
・希望すれば近くでも寄宿舍に入れるようにして欲しい。
・平成25年度には必ず開校して欲しい。

3 参加者アンケートの結果(回答数:東部20、中部42、西部38、計100)

設置場所	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旧赤碕高校跡地を支持する意見(52件) <ul style="list-style-type: none"> ・赤碕へ設置する理由が理解できた。 ・全県下からの通学を考えると妥当だと思う。 ○ 複数校設置や分校等を希望する意見(8件) <ul style="list-style-type: none"> ・次は東部の湖陵高校も高等特別支援学校にしてほしい。 ・できれば県内に2校あればよいと思う。 ・なぜ中部、赤碕だけか、全県にあるニーズからみて疑問が残る。 ○ 岩美や八頭からは遠いという意見(5件) <ul style="list-style-type: none"> ・JRで片道2時間、駅までの時間も含めると通学が大変である。 ・通学は、片道1時間程度が適切と思う。
設置時期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度開校を支持する意見(30件) <ul style="list-style-type: none"> ・目標ではなく必ず平成25年度に開校して欲しい。 ・耐震は必要だが、必要以上に延びて開校が遅くならないようにしてほしい。 ○ 早期開校を望む意見(22件) <ul style="list-style-type: none"> ・もう1年早くならないのか。 ・3年もかかるのは民間では考えられない。
設置規模	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学年4～5学級を適当とする意見(30件) <ul style="list-style-type: none"> ・きちんとしたデータ分析による案なので、良いと思う。 ○ 定員増を希望する意見(10件) <ul style="list-style-type: none"> ・将来生徒が多くなると思うので、多くの人に学ぶ機会を与えてほしい。 ○ 希望者の全員入学を求める意見(7件)
寄宿舍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寄宿舍の設置は必要という意見(39件) <ul style="list-style-type: none"> ・将来への自立に向けても良いことなのでぜひ必要。 ・希望者が全員入れるような規模にしてほしい。 ○ 全寮制を希望する意見(3件)
教育内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業等と連携した専門的な教育を希望する意見(24件) <ul style="list-style-type: none"> ・教育内容等、学校体制の整備を十分に練り上げてほしい。 ・企業と協力、連携されることを望む。 ○ 大学進学への対応を求める意見(3件) <ul style="list-style-type: none"> ・就職だけでなく、進学も考えてほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 選抜方法(試験内容について早く知りたい等)に関する疑問や意見 ○ 入学基準(自閉症・発達障がい等の生徒の受入)についての意見 ○ 他機関と連携して就職先の確保を望む意見 ○ 寄宿舍とは別にグループホーム的な施設も検討すべきという意見

4 今後の予定

	時 期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
設置準備委員会で内容等の検討 (第1回準備委員会開催:4月末予定)		→					
設置案についてパブリックコメント実施 (実施期間:4月7日～5月7日)		→					
対象となる保護者に意向調査実施		→					

教材開発事業に係る第Ⅰ期ドリルの完成について

平成22年4月21日
県教育センター

1 教材開発の趣旨

県内小中学生（特別支援学校を含む）の国語、算数・数学における基礎的基本的な知識や技能の定着と学習習慣の確立をめざし、本県独自の教材開発を行う。

2 教材作成の経過及び今後の予定

平成21年度	<ul style="list-style-type: none">・協力校の確定、検討委員・教材作成委員の確定（4月）・第1回教材開発検討委員会（4月） →国語ドリル（言語事項中心）、算数ドリル（計算領域中心）作成を確認・第2回教材開発検討委員会（6月）・協力校での試行実施及びアンケート実施（7月）・第3回教材開発検討委員会（9月）・協力校での試行実施及びアンケート実施（12月）・第4回教材開発検討委員会（1月）・小1～中3のうち、小1～小4の第Ⅰ期ドリルが完成（3月）
平成22年度	<ul style="list-style-type: none">・協力校：小1～小4に第Ⅰ期ドリルを配布・協力校以外：第Ⅰ期分を教育センターホームページに公開・教材開発検討委員会等で効果的な活用法を検討・国・算（数）ともに第Ⅱ期分（小5～中3）を作成
平成23年度	<ul style="list-style-type: none">・協力校：小1に第Ⅰ期ドリルを、小5～中3に第Ⅱ期ドリルを配布・協力校以外：第Ⅱ期分を教育センターホームページに公開・小1～中3までのドリルの内容の加筆修正・訂正を蓄積 （平成24年度以降に反映）

3 教材の特徴

①小1～中3までの段階を2期に分け、分冊

*学年の進行に即して見通しが持てるよう、第Ⅰ期（小1～小4）と第Ⅱ期（小5～中3）に分けた分冊とする。

*児童・生徒の興味関心や自らの学習進度に合わせて学習に取り組み、個々の学習習慣の確立に役立てる。

②基本から発展へ教科書の学年にとらわれない内容

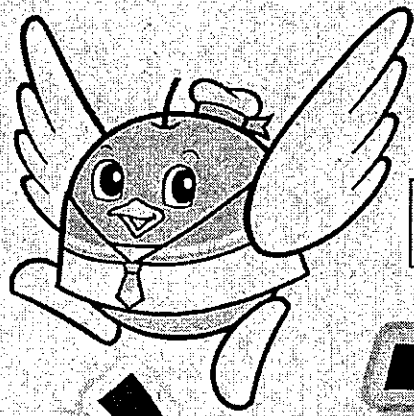
*基本は該当学年の内容を中心としながらも、上位学年の内容も発展として盛り込む。

③児童・生徒の実態を踏まえながら、鳥取県らしさを加味した教材

*鳥取県の風土や文化に親しみを持ち、郷土とのつながりが身近に感じられる内容を加味する。

④問題編に対応した解答編

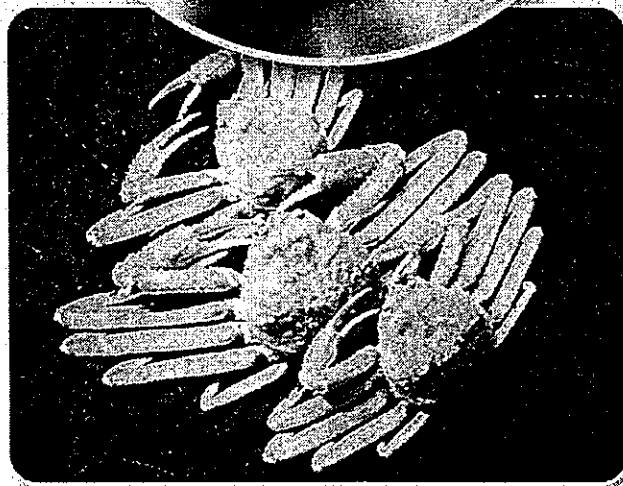
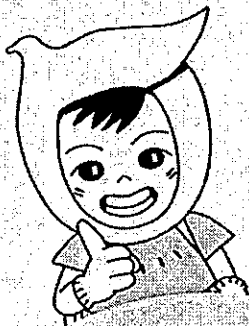
*児童・生徒が自分で解答の確認ができる解答編を作成する。



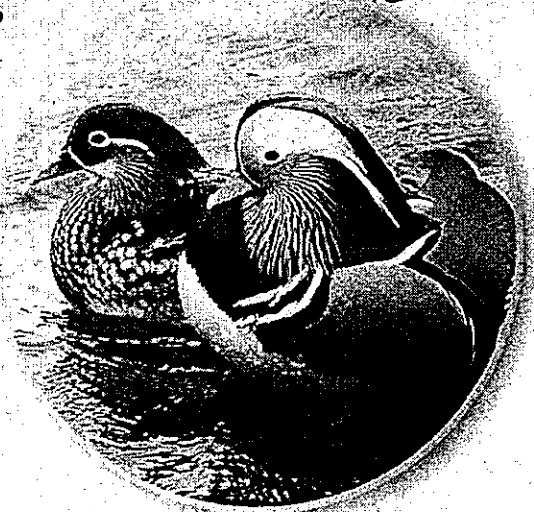
小学1年生～4年生

とんこドリル

算数



とんこドリル



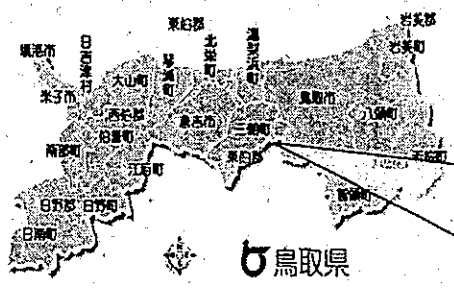
漢字のたしざん

学習日 月 日 ()

☆組み立てるとどんな漢字ができますか。書いてみましょう。

- 1 心 + 田 =
- 2 雨 + ヨ =
- 3 糸 + 会 =
- 4 八 + ム =
- 5 女 + 未 =
- 6 七 + 刀 =
- 7 日 + 寺 =
- 生 + 日 = 星
- 8 言 + 五 + 口 =
- 9 立 + 木 + 見 =
- 10 舟 + 八 + 口 =
- 11 糸 + 白 + 水 =

どのように組み合わせるでしょうか。
 ① 上にくるか下にくるか。
 ② 右側か左側か。
 ③ 中にはいるか。
 ※ やり方が分かったら、自分で問
 たいを作ってみましょう。



☆読めるかな？ 鳥取県の地名

三朝町 三徳山投入堂

《千ヤレンシ》

○読みがなを書きましよう。

みどくさんさんぶつじ
 三徳山三佛寺の奥
 の院は「投入堂」とい
 われ、国宝に指定さ
 れています。けわしい
 山のだんがいの岩か
 げにたてられていま
 す。ふもとで組み立
 てたお堂を、役行者
 (えんのぎょうじゃ)
 が法力で投げ入れた
 という伝説がありま
 す。

家の人のしるし↓

2-14 かけ算の九九(1)

がくしゅうび

学習日 月 日()

(1) 5のだん、2のだんの九九の
こたえをもとめましょう。



五一が5, 五三10, ...
二一が2, 二二が4, ...

① 5×3
=15

② 5×8
=40

③ 5×9
=45

④ 5×5
=25

⑤ 2×6
=12

⑥ 2×8
=16

⑦ 2×4
=8

⑧ 2×9
=18

2-14

(2) 3のだん、4のだんの九九のこたえをもとめましょう。

⑨ 3×7
=21

⑩ 3×5
=15

⑪ 3×4
=12

⑫ 3×6
=18

⑬ 4×6
=24

⑭ 4×8
=32

⑮ 4×4
=16

⑯ 4×7
=28

(3) つぎの九九のこたえをもとめましょう。

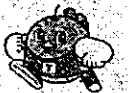
⑰ 4×9
=36

⑱ 5×7
=35

⑲ 3×8
=24

⑳ 2×5
=10

今日もよくがんばったね!
まだいっしょにべんきょうしようね!



とっとりけん
《鳥取県の日本一をさがそう》

日本一の高低差(たかさのちがいを)もつ砂丘が鳥取県にあるよ。
なんという砂丘か知っているかな?

鳥取県にある日本一の高低差(たかさのちがいを)もつ砂丘は鳥取砂丘だよ。知っているかな?

また、高低差(たかさのちがいは)92mだよ。鳥取砂丘といえばラッセウがゆめいだね。

☆家の人をしるし

平成22年度の県立高等学校専攻科の志願状況について

平成22年4月21日
高等学校課

平成22年度の県立高等学校専攻科の志願状況は、次のとおりです。

県立高等学校専攻科への志願状況等（は募集定員減の年度）

学校名	年度	募集定員	志願者	競争率	合格者	入学者
倉吉東	H22	70	91	1.30	70	68
	H21	70	100	1.43	72	71
	H20	70	83	1.19	70	70
	H19	70	95	1.36	74	73
	H18	70	69	0.99	69	67
	H17	80	82	1.03	81	77
	H16	80	97	1.21	85	85
	H15	80	110	1.38	84	83
	H14	80	116	1.45	91	91
	H13	80	109	1.36	90	90
	H12	80	104	1.30	90	90
H11	100	120	1.20	106	103	
米子東	H22	50	81	1.62	52	52
	H21	50	72	1.44	51	51
	H20	50	85	1.70	52	52
	H19	50	69	1.38	52	52
	H18	50	45	0.90	45	43
	H17	60	96	1.60	65	64
	H16	60	61	1.02	61	61
	H15	60	90	1.50	63	62
	H14	80	115	1.44	84	83
	H13	80	118	1.48	87	87
	H12	80	109	1.36	86	84
H11	100	123	1.23	100	98	

山陰海岸学習館のリニューアルオープンについて

平成22年4月21日
博 物 館

山陰海岸ジオパークの拠点施設としてリニューアルした『山陰海岸学習館』について、下記のとおり、リニューアルオープン式典を実施します。

1 リニューアルオープン式典

- (1) 日 時 平成22年4月24日(土) 午後0時30分～午後1時
 - (2) 場 所 山陰海岸学習館 前庭(岩美郡岩美町牧谷)
 - (3) 概 要 主催者挨拶、来賓祝辞、テープカット等
 - (4) 参加予定 山陰海岸ジオパーク推進協議会会長、山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟をめざす三府県議会議員の会会長、知事、岩美町長 ほか
 - (5) 学芸員による展示室内の解説 (午後1時00分～1時30分)
- ※式典終了後、一般公開(午後1時から)

[参 考]

1 山陰海岸学習館のリニューアル概要

- (1) 世界ジオパークネットワークへの加盟をめざす「山陰海岸ジオパーク」の取組に対応するため、拠点施設として山陰海岸学習館のリニューアルを実施。

<主な改修内容>

- 貴重な地質遺産やそこに暮らす豊かな生きものなど、さまざまな角度から山陰海岸の魅力や価値について分かりやすく紹介できるよう、日本海の大規模海底地形模型や鳥取砂丘の地層剥ぎ取り標本の設置など展示内容を一新するほか、デザインの統一、エントランスホールや看板の改修及び映像機器整備などの体験学習室の改修を行った。

<事業実施予定>

- 「バスでめぐるジオスポットツアー」(5月16日)をはじめ、「山陰海岸ジオパーク講座」など山陰海岸ジオパークについて学ぶ講座等を開催する(年15回)
- (2) 山陰海岸ジオパークに関する地学分野の調査研究・教育普及活動の充実及び学術的支援を行うため、4月1日付けで地学担当学芸員を新たに採用し、学習館に配置。
※「山陰海岸ジオパーク外国人(英語)対応ガイド(1名)」(文化観光局採用)を3月16日付けで学習館に配置。

2 山陰海岸ジオパークの世界に向けた決起大会の開催(観光政策課主催)

平成22年4月24日(土)、鳥取市において「山陰海岸ジオパークの世界に向けた決起大会」を開催。ボランティアガイドなど関係者の士気高揚や機運醸成を図る。

(第1部) 10:00～11:20 ボランティアガイド代表の活動報告・決意表明など

(第2部) 13:00～14:40 施設見学会(学習館、鳥取砂丘ジオパークセンター)

3 岩美町立渚交流館(山陰海岸学習館隣)主催の関連事業

ゴールデンウィーク中には、岩美町立渚交流館主催により関連事業として「シーカヤック体験」が実施される予定。

1 調査の目的

県民の運動・スポーツに関する活動の実態や意識・要望を調査し、運動・スポーツに関する県民の現状を総合的に把握し、今後の本県生涯スポーツの推進施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査項目

- (1) 健康、運動・スポーツに対する意識
- (2) 運動・スポーツの活動状況
- (3) 今後の運動・スポーツへの意識・要望 等

3 調査設計

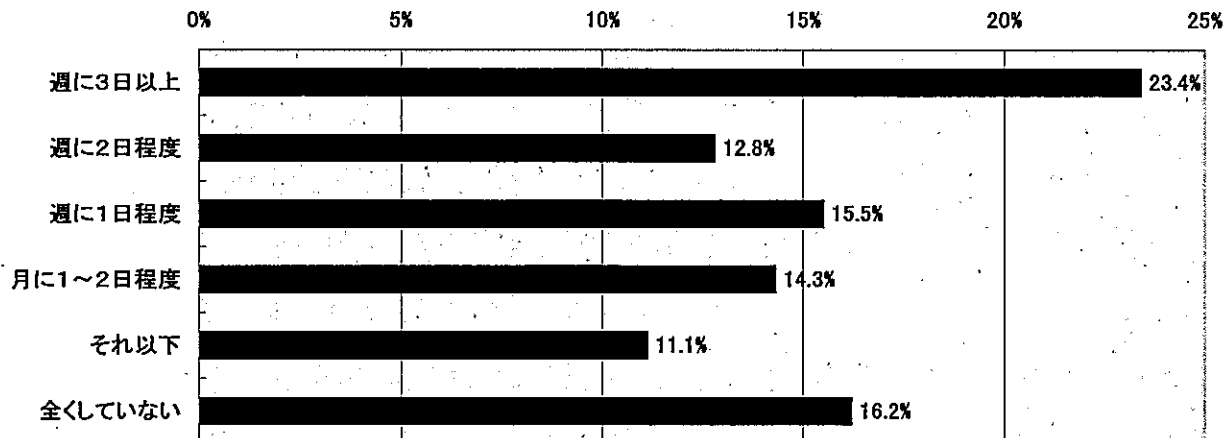
- (1) 調査対象 県内在住の20歳以上(平成21年10月1日現在)
- (2) 標本数 1,500人
- (3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法(市町村選挙人名簿による)
- (4) 調査方法 郵送返信(A4版5ページの質問法)による
- (5) 調査期間 平成21年10月1日～10月31日

4 調査の回収状況

調査数 1,500人
回収数 1,013人
回収率 67.5%

5 調査結果の概要(詳細別紙)

「一年間に運動やスポーツを行った割合」(運動・スポーツ実施率)



① 週1回以上何らかの運動・スポーツ活動をしている人の比率(運動・スポーツの実施)が51.7%であった。前回は44.3%で、前回よりも7.4%高くなった。

②「全くしていない」人の比率は16.2%で、前回も16.5%とほぼ同率であった。

(※ 前回は平成16年12月に実施)

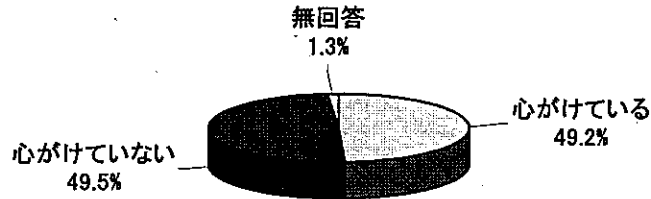
〈参考〉

	県	全国
H12	34.8%	37.2%
H16	44.3%	38.5%
H21	51.7%	45.3%

※ 国が定める「スポーツ振興基本計画」では、運動・スポーツ実施率50%を目標としている。

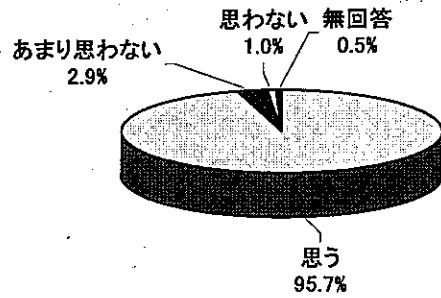
〈別紙〉

問1 普段から健康を意識して運動やスポーツをするよう心掛けているか



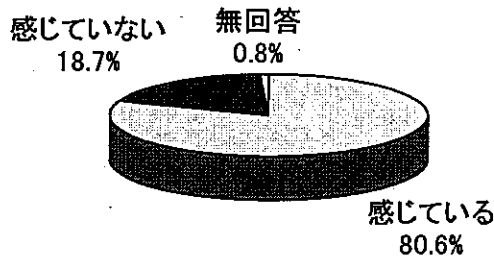
「心掛けている」が49.2%と「心掛けていない」が49.5%でほぼ同率であった。

問2 適度な運動やスポーツは必要だと思うか



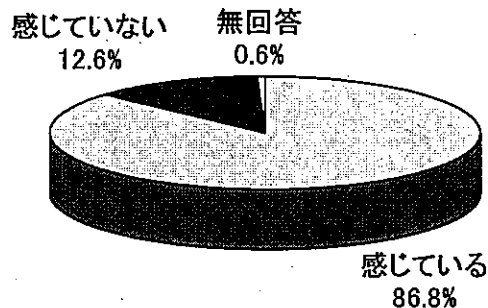
「必要だと思う」が95.7%とほとんどの人が運動やスポーツの必要性を認識している。

問3 日ごろの運動不足を感じているか



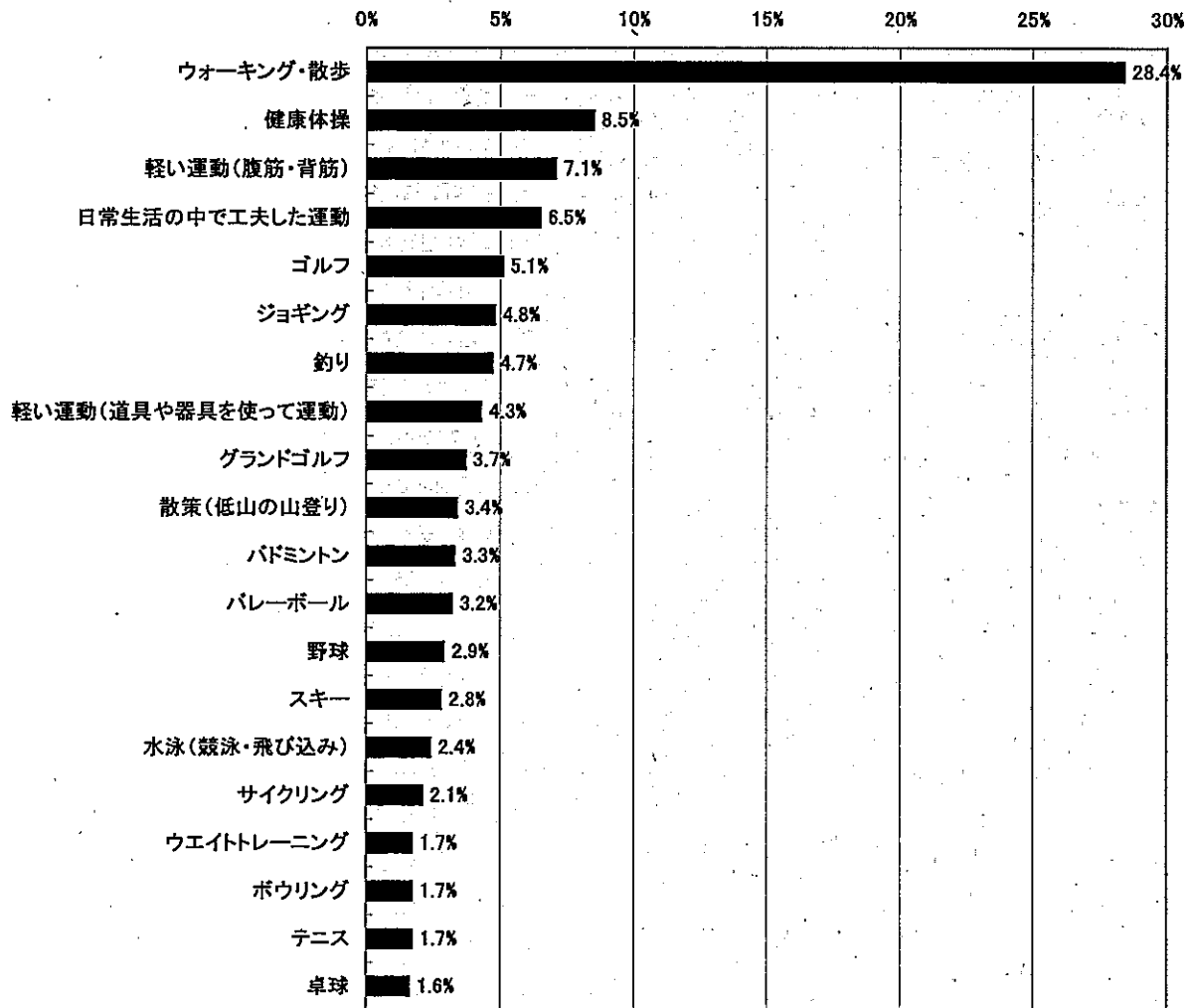
日頃運動不足を「感じている」が、80.6%と高い比率であった。

問4 日ごろ体力の衰えを感じているか



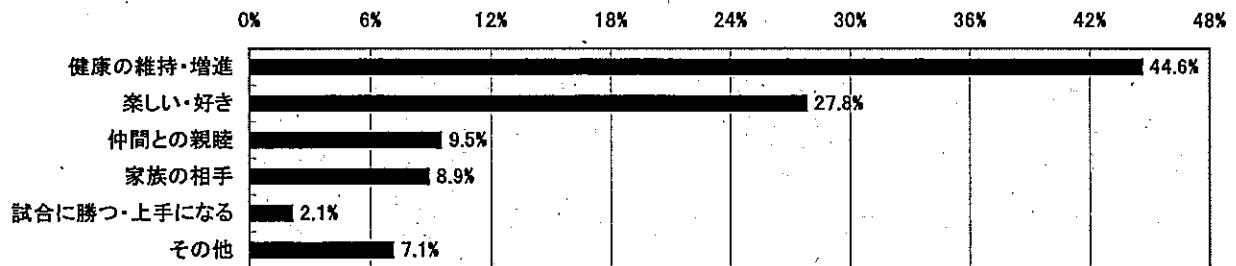
日ごろ体力の衰えを「感じている」が、86.8%と高い比率であった。

問5 ①日ごろ行っている運動・スポーツの種目・競技(複数回答3つ・上位20位)



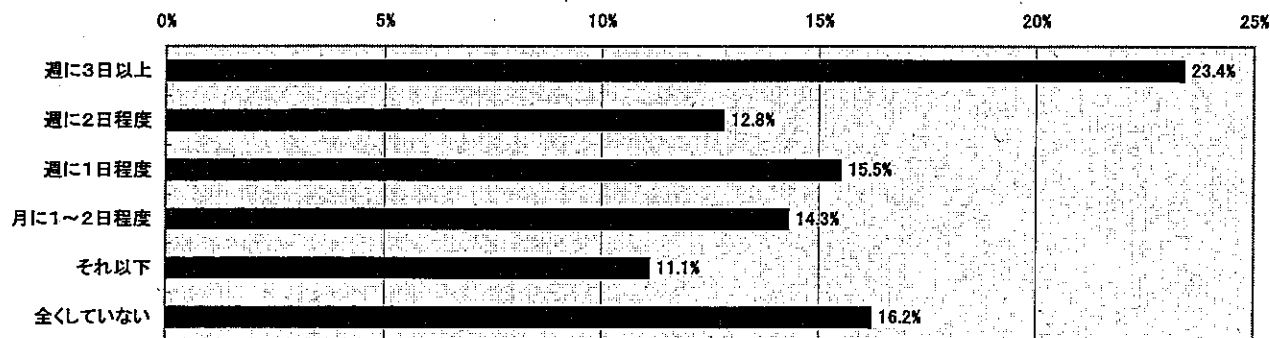
第1位は「ウォーキング、散歩」が28.4%であった。前回は「ウォーキング、散歩」が第1位で32.6%であった。好きな時間にできる「ウォーキング」が今回も1位となった。

問5 ②その種目を行っている理由



第1位は「心身の健康の維持・増進のため」が44.6%であった。前回は同様に27.3%であったが、前回と比べるといっそう健康志向が高まっていることが伺える。

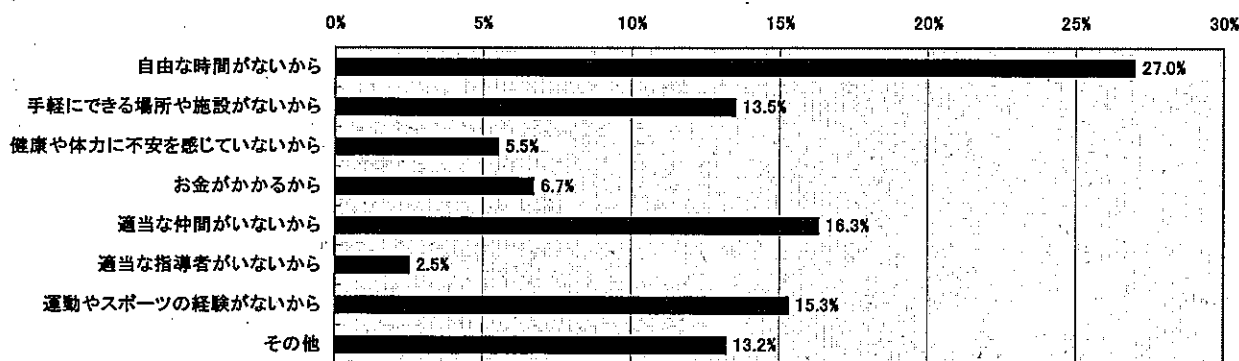
問6 一年間に運動やスポーツを実施した割合



① 週1回以上何らかの運動・スポーツ活動をしている人の比率(運動・スポーツ実施率)が51.7%であった。前は44.3%で、前回より7.4%高くなった。

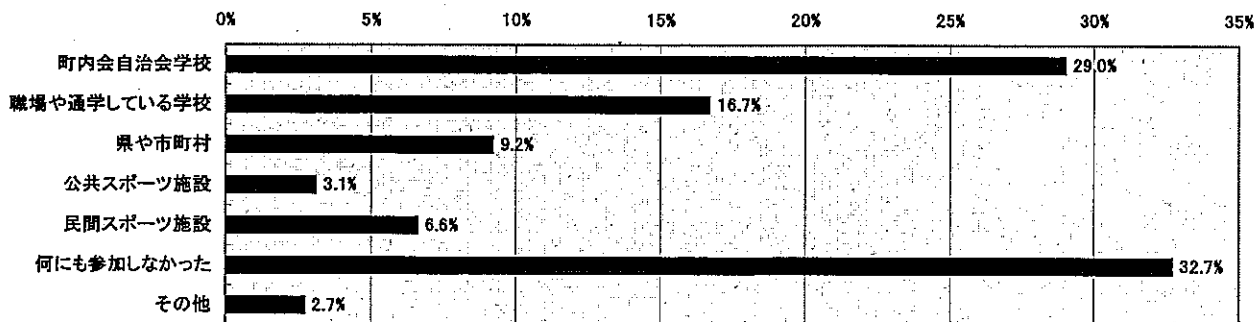
②「全くしていない」人の比率は16.2%で、前回の16.5%とほぼ同率であった。

問7 運動やスポーツをしなかった理由(複数回答)



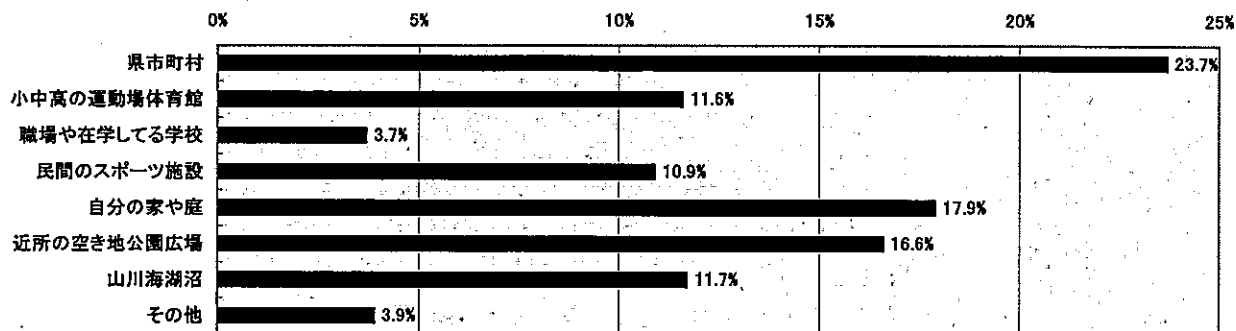
第1位は「自由な時間がないから」が27%であった。前回も同様に第1位で30.0%であった。自由な時間がないので運動ができない人が多いことが伺える。

問8 運動やスポーツの行事、教室に参加したか(複数回答)



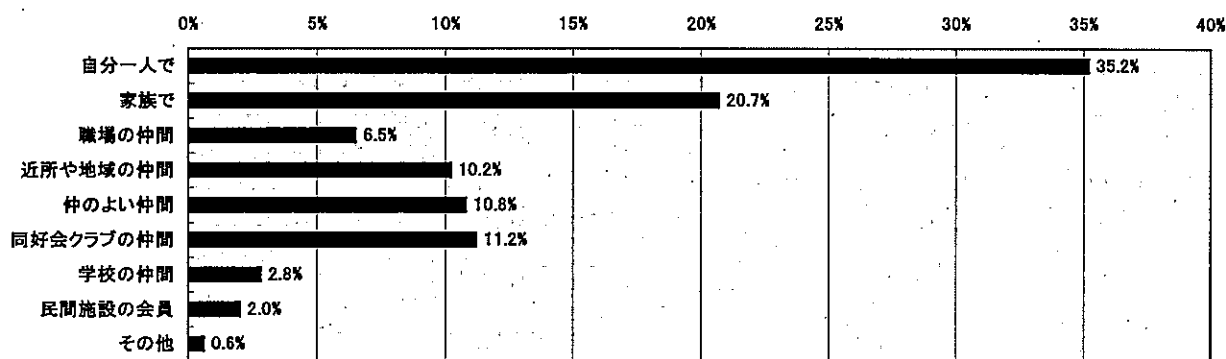
第1位は「何にも参加しなかった」が32.7%であった。前は「町内会、自治体、学校などが主催した運動・スポーツ行事や教室に参加した人」が39.3%であった。前回よりも運動・スポーツの行事に参加していない人が増えている。

問9 運動やスポーツをする施設、場所(複数回答)



第1位は「県・市町村の公共スポーツ施設」が23.7%であった。前回も同様に第1位で46.3%であった。前回と同様、「県・市町村の公共スポーツ施設」を使用する人が多い。

問10 誰と運動やスポーツを行っているか(複数回答2つ)



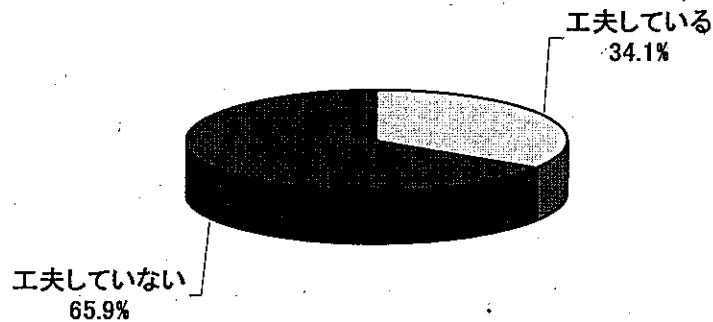
第1位は「自分一人で行っている」が35.2%であった。前回も同様に第1位で31.1%であった。前回と比べ4.1%高くなった。自分一人で運動やスポーツをする人が若干だが多くなっている。

問11 運動やスポーツの同好会に入った動機



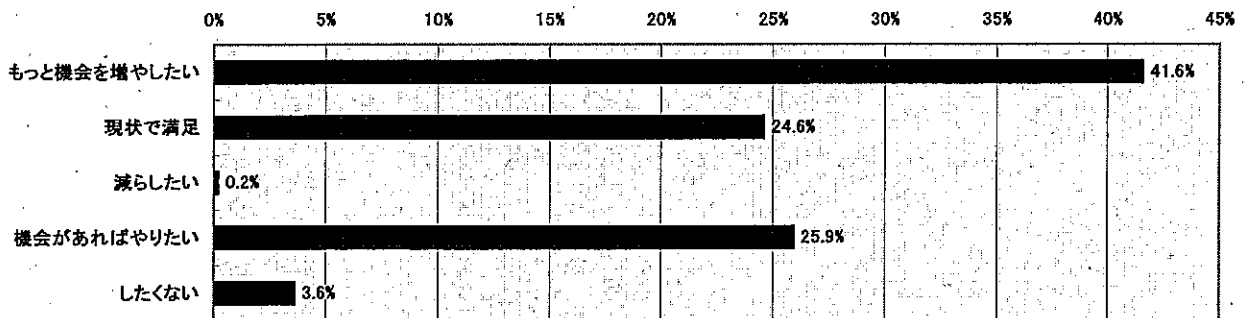
第1位は「楽しい・好きだから」が32.0%であった。前回も同様に第1位で33.8%であった。同好会に入る動機は「楽しめる」「自分が好きなスポーツ」「健康のため」という理由が多い。

問12 運動を時間や場所など工夫して行っているか



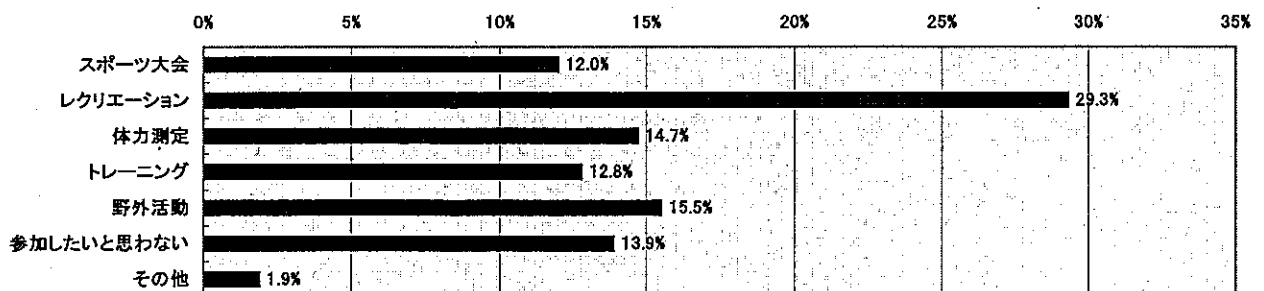
日頃運動を「工夫して実践している」が34.1%であった。「工夫していない」が65.9%であった。

問13 今後の運動やスポーツ活動に対する考え



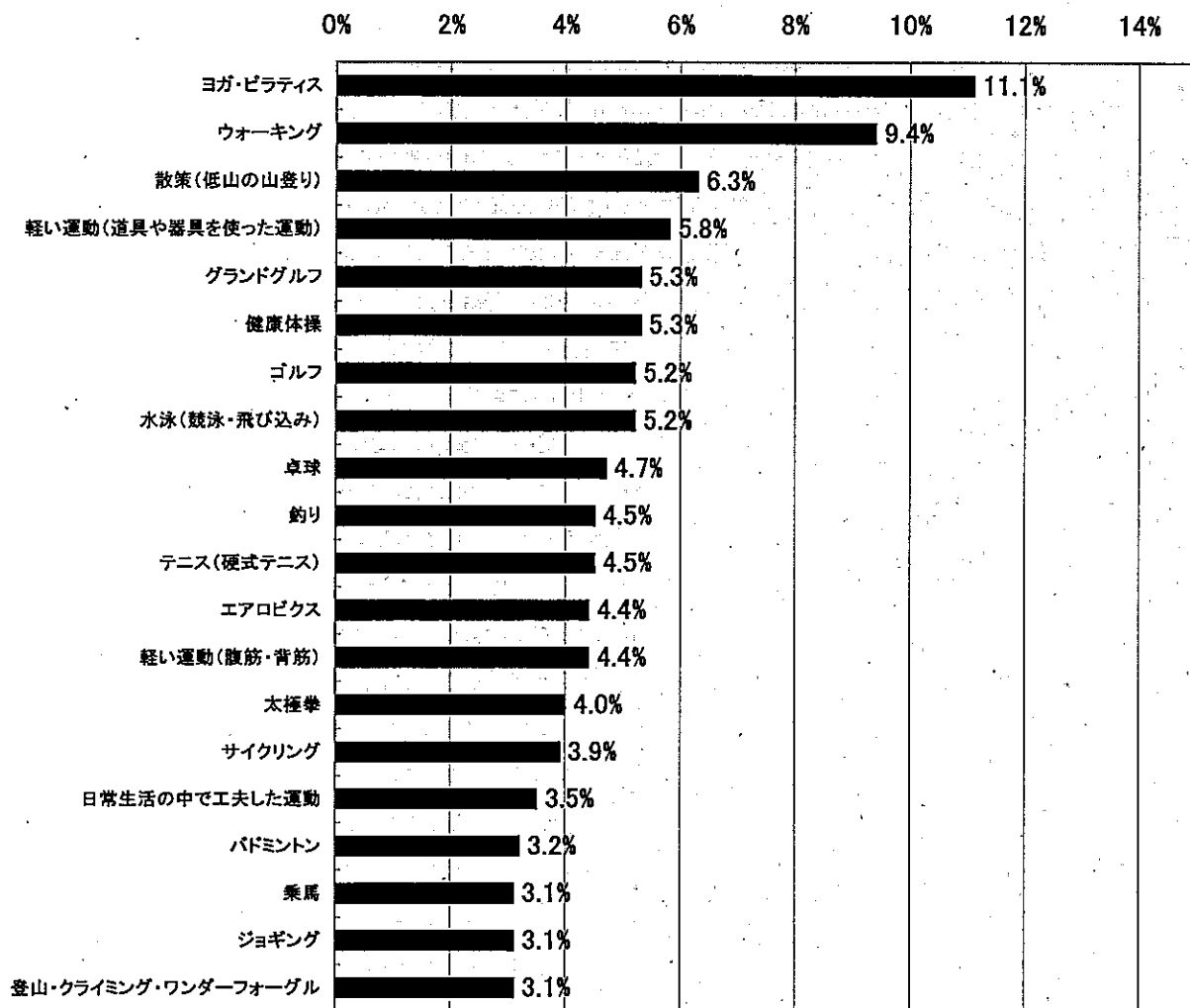
第1位は「もっと機会を増やし、運動やスポーツ活動を行いたい」が41.6%であった。前回の37.4%よりも4.2%高くなっており、運動・スポーツ活動をしたい人が増えている。

問14 参加したい運動やスポーツ行事(複数回答)



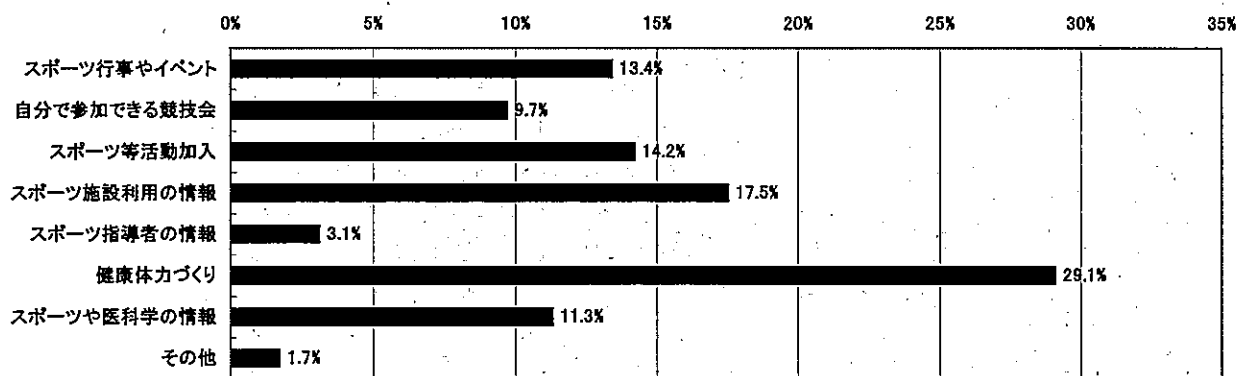
第1位は「レクリエーション」が29.3%であった。「スポーツ大会」は12%と一番低く、「参加したいと思わない」が13.9%であった。

問15 今後やってみたい運動やスポーツ(複数回答上位20位)



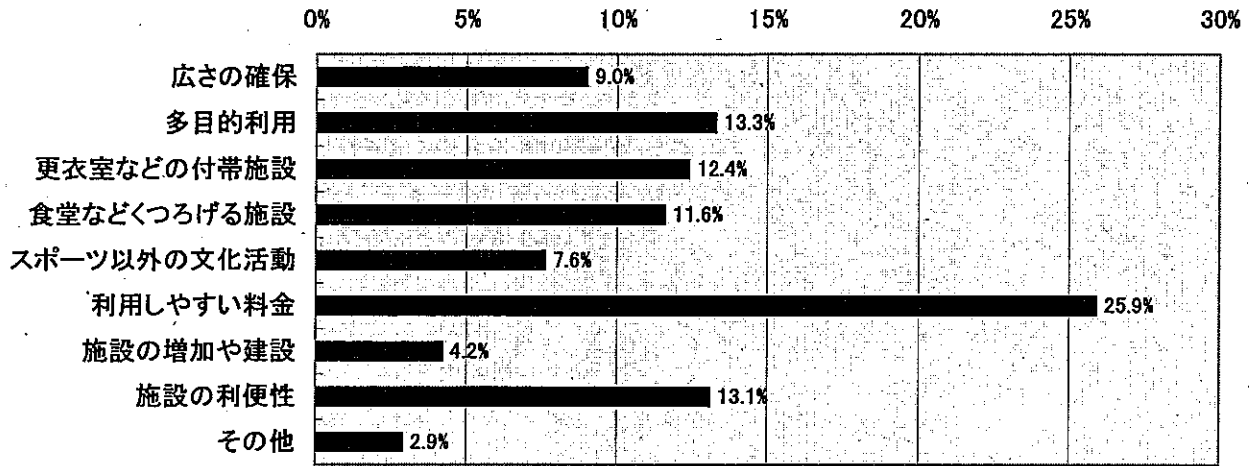
第1位は「ヨガ・ピラティス」が11.1%であった。今回は「ウォーキング、散歩、ハイキング」が18.0%であった。

問16 どんなスポーツ情報が充実したら良いか(複数回答)



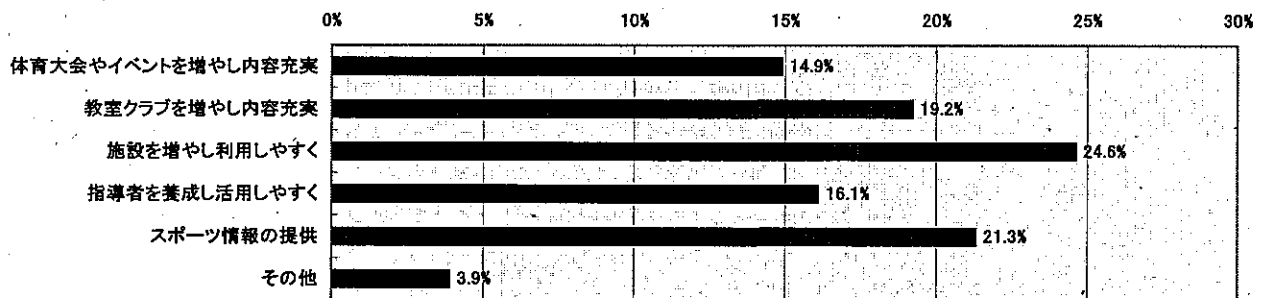
第1位は「健康や体力づくりに関する情報」が29.1%であった。今回は47.8%であり、前回と比べると健康や体力づくりだけではなく、様々な情報を望んでいることが伺える。

問17 運動、スポーツ施設で望むこと(複数回答)



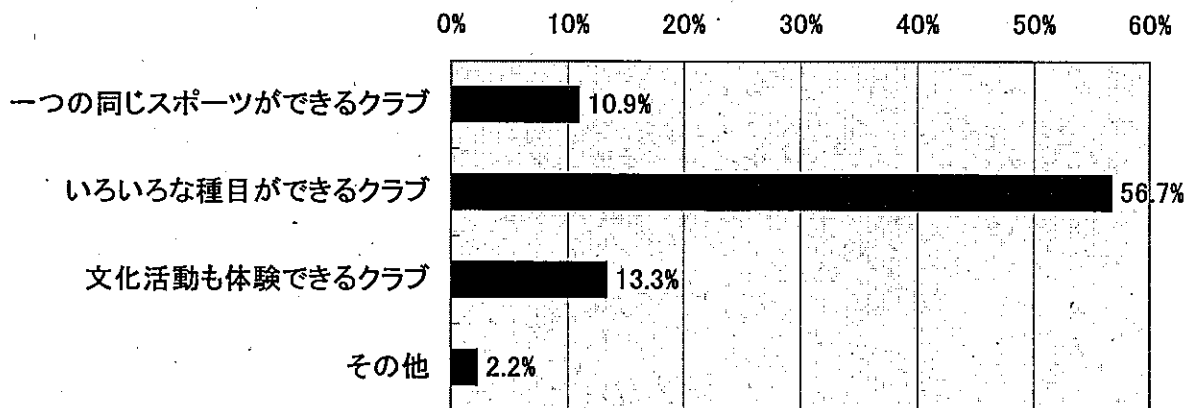
第1位は「利用しやすい料金の設定」が25.9%であった。前回の第1位は「食堂、談話室、ラウンジなどつろげる施設が整備されること」が38.6%であった。経済状況を反映している面も考えられる。

問18 運動やスポーツの普及・振興で力を入れること(複数回答2つ)



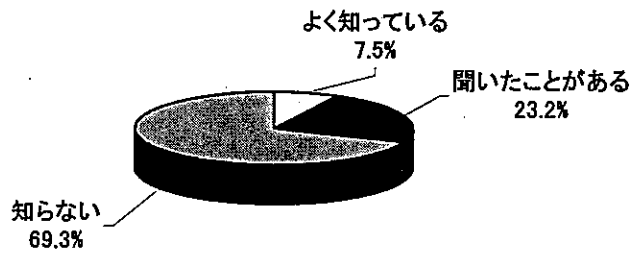
第1位は「施設を増やし、利用しやすくする」が24.6%であった。前回も同様に第1位で20.0%であった。前回と比べて4.6%上がっており、施設を増やしてほしいという意見が若干だが高くなっている。

問19 これからのスポーツクラブに望む形態



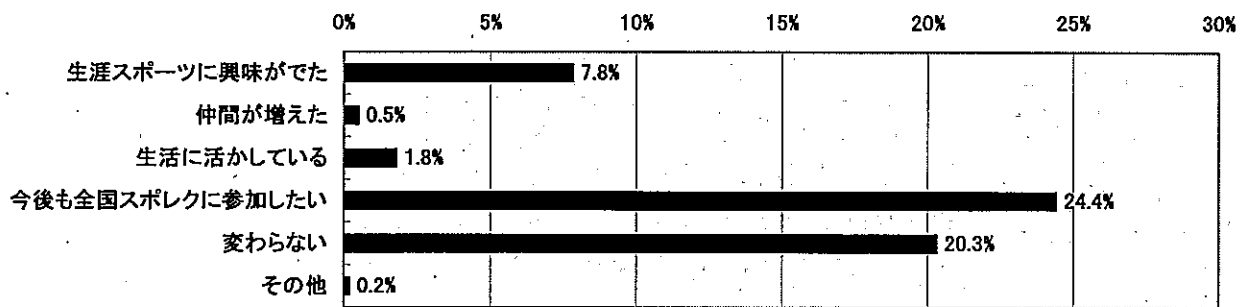
第1位は「自分の好みや能力に合わせて、色々な種目を選択できる総合的なクラブ」が56.7%であった。前回も同様に第1位で58.4%であった。半数以上の人がいちいち色々な種目を選択できるクラブを望んでいる。

問20 総合型地域スポーツクラブを知っているか



第1位は「知らない」が69.3%であった。前回も74.0%であった。約7割の人が「総合型地域スポーツクラブ」について知らないことが伺え、今後は総合型地域スポーツクラブの普及発展に力を入れていく必要がある。

問21 全国スポレク祭(2006スポレク鳥取)参加後の気持ちの変化



第1位は「その後の全国スポレク祭に参加したい」が24.4%であった。「変わらない」が20.3%であったが、生涯スポーツに興味が出た人が7.8%見られた。